

矢向をもっと

私が矢向の
古谷やすひこ
です!

やっぱり!
地元のことは
地元の人でしょう!!



いい街に!

矢向に住んで、矢向で働き、矢向で消防団として活動し、矢向で子育て真っ最中の横浜市議員

古谷 ふるや靖彦
やすひこ
です

変わりつつある矢向の街で
地元議員として頑張ります!

いま、矢向・江ヶ崎の街は大きく変わりつつあります。町工場が多くあった時代から、医療や福祉の施設が次々と立ち、戸建て住宅やマンションが増え、保育園も立ち、子どもの多い街となりました。毎年参加している日枝神社の例大祭では、子どもたちの行列が毎年長くなっています。写真にある矢向駅も昔は、それほどでもなかった乗降客も大きく増えて有数の駅となりました。

街が変われば、それにつれて、インフラも整備されなければなりません。私が議員になって間もない頃、ある町内会長さんから「子どもたちの通学路に危険な場所があるのでカーブミラーをつけてほしい」と言われ、早速翌朝、子どもたちの登校の様子を確認しに行って、カーブミラーの必要性を実感、土木事務所さんと相談して、すぐに設置していただきました。こういうふ

うに、地元に住んでいる議員であればこそ、身近な要望をすぐに実現することができます。ほかにも尻手駅のエレベーター設置の運動が実を結び設置が実現したことやあちこちの歩道確保や拡幅も実現してきました。

しかしまだまだ矢向は市境のために、お隣の川崎市の土地があったりして、なかなか整備が進みづらい所もあります。しかし粘り強く働きかけて、川崎市が持っているデコボコ道路の舗装・管理を横浜市として行ってもらえたところも出てきました。引き続き、この矢向・江ヶ崎の街をよくするために、全力で働きます。

また、矢向中学や新鶴見小学校に子どもたちが通っている父親として、この横浜市がもっと子育てしやすい街になるために働きかけてまいりたいと思います。

●プロフィール

矢向1丁目在住 / 元 汐田総合病院事務次長 / よこはま健康友の会 副会長 / 鶴見消防団第九分団(矢向・江ヶ崎)分団員 / 妻は汐田総合病院の看護師 / 4人の男の子の子育て真っ最中 / 子どもたちは、矢向あけぼの保育園や、わおわお保育園等でお世話になり、引き続き新鶴見小学校・矢向中学校で地域の方々に見守られて子育てをしています。 プレサにスジを通す日本共産党の所属です。

みんなの声を聞いて 実現してきました



1 築80年の旧江ヶ崎陸橋の架け替え要求は長年の課題。JR、横浜市、川崎市に働きかけ約6年をかけ2013年に完成、開通しました。



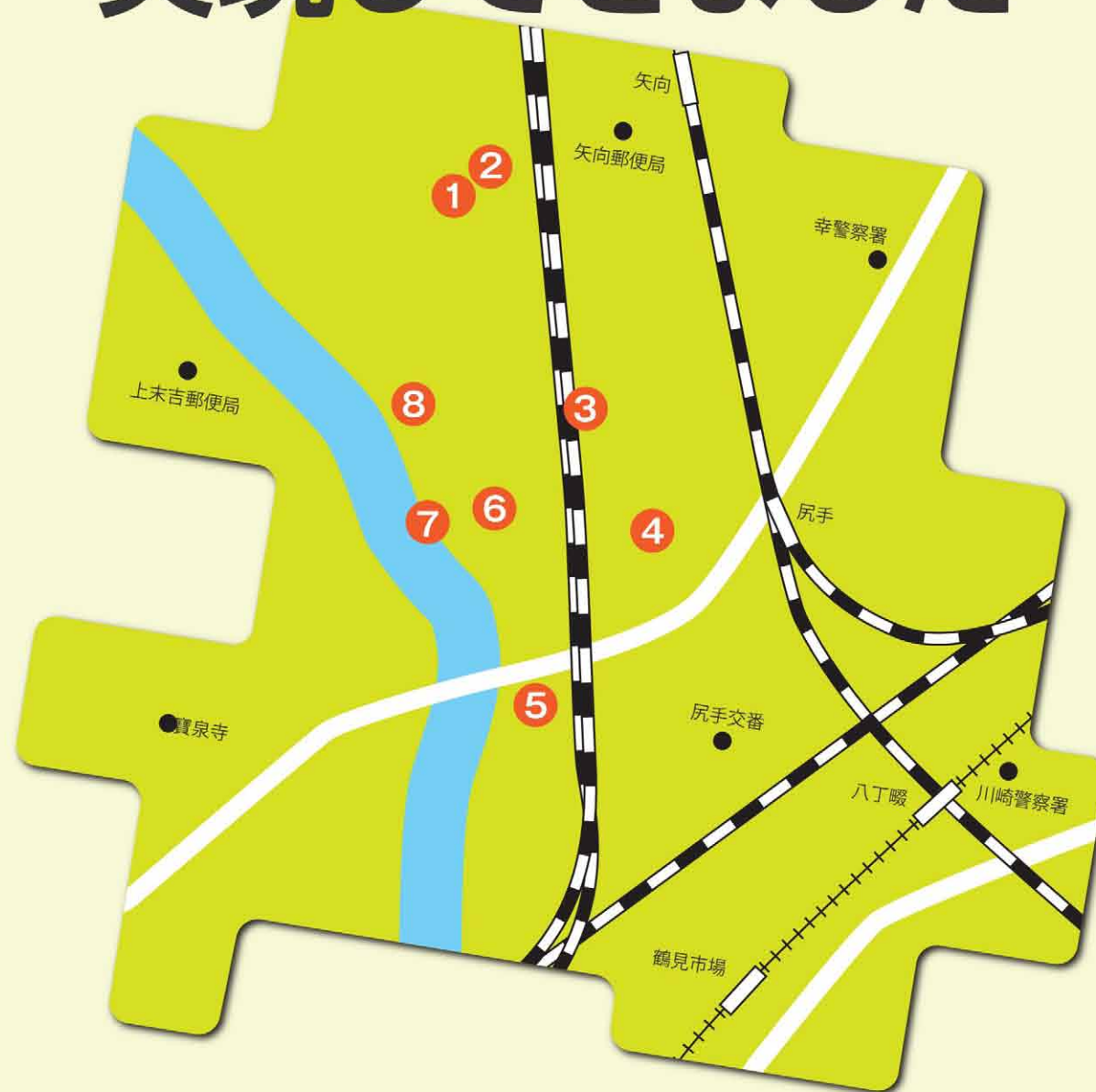
2 江ヶ崎陸橋の架け替え工事に伴い、狭くて危険な踏切も大幅に改善されました。



3 尻手黒川線の矢向第1陸橋、道路には歩道もなく、約3階建てほどの階段を登らなければ…エレベーター設置の要求はこれからも大きな運動に。



4 矢向2丁目、JR変電所脇の道路問題。近隣からの強い要望をもとにJR、横浜市道路局と交渉。JRが主体になり道路舗装が完了(2010年10月)。近隣住民から、30数年ぶりにきれいな道路になったと喜ばれています。



ひきつづき 実現にむけて頑張ります!

今後の運動課題を4点



- 1 尻手駅と矢向駅のバリアフリーを要望(2010年)し、尻手駅はエレベーターの設置、トイレの改修が行われましたが、今後引き続き矢向駅のバリアフリー化の運動を進めていきます。
- 2 元宮の国道1号線高架下の両側の歩道設置を要望していきます。横浜市がJRに申し入れをすれば十分に実現可能です。引き続き横浜市に要望していきます。
- 3 矢向地域から鶴見へのバス路線。昨年からふれあいバスが運行されましたが、1日2往復では利用ができません。バスの増便と新たなバス路線の拡充を要望します。
- 4 よこはま健康友の会のまちづくり委員会が中心となって水道橋(人道橋)の存続を求める運動は、今年になって末吉地域と矢向1丁目、江ヶ崎町内会が連名で横浜市に要望書を提出するなど、私たちの要望が町ぐるみの要望として発展し、横浜市議会でも取り上げられています。人道橋の実現のためにさらなる運動を広げていきましょう。



5 元宮2丁目と矢向1丁目の国道1号高架下の歩道側に大きな障害物撤去問題。横浜国道事務所、土木事務所と交渉。障害物が撤去され、歩道が利用可能になりました。(2014年9月)



6 矢向中学校裏の道路。川崎市の水道管が埋められており、横浜市は道路舗装に消極的。長年の交渉が実り道路舗装が行われました。(2014年)



7 矢向、江ヶ崎地域の避難道路としても重要視されている水道橋(人道橋)。人道橋として改修補強して存続が強く求められており、TBS テレビでも取り上げられ大きな話題に。1月には末吉、矢向地域の町内会も横浜市に要望書を提出。町ぐるみの要求運動に発展しています。



8 矢向1丁目、町内会役員からの要望でカーブミラーの設置を土木事務所に働きかけ、すぐに実現しました。

鶴見区全域で 活躍する 古谷 やすひこ



「鶴工」跡地に特養老人ホームが実現

旧汐田総合病院があった下野谷地域の鶴見工業高校跡地に2030年開所予定で特別養護老人ホームが建設されます。鶴見工業高校の廃校が明らかにされた2002年、よこはま健康友の会はすぐに跡地利用を検討し、特養老人ホームの建設、高齢者住宅、地域が賑わう街づくりなどを要求項目に、2万筆を超える署名を集め、毎年、横浜市との交渉を重ね「特養ホームの建設」を約束させました。



小学3年生までの医療費無料化が実現

横浜市は、今年10月から小学3年生までの通院の医療費無料化(現行1年生まで)を明らかにしました。昨年12月市議会でも小学3年生まで引き上げ、所得制限をなくすよう求める請願が121団体、7669人から提出されていました。引き続き、中学3年生までの引き上げを目指して運動を広げましょう。



中学校給食を横浜でも

中学校給食は、全国の84%の公立中学校で実施されています(2012年5月現在)。大阪の堺市の竹井市長は昨年8月、「成長期の生徒に対応した安全安心でおいしい給食を提供したい」と、2016年度中に中学校給食を開始することを表明。20の政令市で、中学校給食をやる気がないのは横浜市だけです。

末吉橋の架け替え、 2017年度着工目指すと表明

末吉橋界隈の共産党後援会やよこはま健康友の会などからの地域要求が強かった、末吉橋の架け替え要求について、横浜市は2017年度着工を目指すことを表明しました(横浜市議会・2月24日)。今後架け替えによって、渋滞の解消、歩道の拡幅、土手との立体化など、住民側からの要求・提案の実現を目指します。

